

「被爆 80 周年ヒロシマ・ナガサキ原爆・平和写真ポ
スター展」オープニングセレモニー
英利外務大臣政務官挨拶

2025年7月11日（金）10：00～12：00

冒頭挨拶

マルワラ学長、松井市長、鈴木市長、御列席の皆様、外務大臣政務官の英利アルフィヤです。

日本政府を代表し、「被爆 80 周年ヒロシマ・ナガサキ原爆・平和写真ポスター展」の開催を心より歓迎いたします。また、本展の開催に当たっての国際連合大学、広島市、長崎市の関係者の皆様の御尽力に、敬意を表します。

1945 年 8 月、広島と長崎に投下された原子爆弾により、数多くの尊い命が一瞬にして奪われ、一命を取り留めた人々も、筆舌に尽くしがたい苦しみを背負いながら歩んでこられました。

以来、我が国は、唯一の戦争被爆国として、そのような多大な惨禍をもたらす核兵器が将来二度と使用されることが

ないよう、「核兵器のない世界」の実現に向けて、歩みを続けてまいりました。

この「被爆 80 周年ヒロシマ・ナガサキ原爆・平和写真ポスター展」は、広島と長崎が経験した惨禍を語り継ぎ、人々が平和の重要性を再認識するために大きな意義を持つと確信しています。

被爆 80 年の節目を迎えるこの夏、この展示が「核兵器のない世界」を希求する人々の心を繋ぎ、平和の尊さを共に考える契機となることを心より願っております。多くの方々に本展を御覧いただき、「核兵器のない世界」への思いがさらに広がることを祈念し、私からの挨拶とさせていただきます。

御清聴ありがとうございました。

(了)